キンメダイ資源管理手法開発研究

【研究概要】

伊豆諸島におけるキンメダイの漁業実態、資源生物特性の把握により、キンメダイの資源管理手法を開発し、広域的資源管理の展開に必要な科学的根拠を提供する。

① 2025 年の東京都の漁獲量は 857.0 トン（前年比 130.2%）で、198.8 トン増加した。

② 尾叉長測定を神津島で 4,697 尾、八丈島で 4,802 尾について行い、漁場別魚体組成を整理した。精密測定を神津島で 150 尾、八丈島で 255 尾、年齢査定を伊豆諸島全体で 325 尾実施し、結果を年齢組成や成熟状況の把握、Age-Length key 更新等、資源量推定のためのデータとして用いた。

③ 5月から9月に大島から鳥島の10測点で実施したリングネット調査で、キンメダイ卵が計 3,288 粒採集された。稚仔魚については採集されなかった。

④ 標識放流を新島周辺で 5 月に 1 尾、 6 月に 24 尾実施した。

⑤ 資源量推定の結果から関東周辺から伊豆諸島周辺海域における 2024 年時点の資源量は 38.7 千トン、資源水準は「MSY を実現する水準を上回る。」、資源動向は増加と判断された。